

予算審査特別委員会

第76号議案・平成30年度白石市一般会計補正予算(第4号)から第80号議案・平成30年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)までの計5議案について、定例会2日目(12月11日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・佐藤秀行、副委員長・佐藤聡二)は、12月12日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成30年度白石市一般会計補正予算(第4号)

総務費

〔質疑〕ホワイトキューブアリの照明をLEDに更新することにより、年間500万円程度の削減が見込まれるとの説明があったが、次年度以降の予算において、その分の減額は考えているのか。

〔答弁〕現在、ホワイトキューブは公益財団法人白石市文化体育振興財団に指定管理者とし

て指定しているが、年数を区切って指定期間を定めていることから、今後の指定管理料に反映することも含め、使用状況を見きわめながら対応していきたいと考えている。

土木費

〔質疑〕施設整備としてスポーツ振興くじ助成金962万8千円

が歳入に計上されているが、どの施設に活用されたのか。

〔答弁〕これはトータルくじの助成金で、白石川緑地公園の陸上競技場改修工事請負費が対象となっている。

工事請負費の助成対象額1千742万円に対し、962万8千円の交付内定を受けたもので、平成30年9月末で工事が完了し事業費が確定したことから、今回、助成額を計上した。

工事の内容は、陸上競技場におけるフィールドトラックの土を購入し、平たんにならすための整地工事、また、走り幅跳び走路のウレタン舗装の再舗装を行なっている。

教育費

〔質疑〕学力向上パワーアップ支援事業は、埼玉県と同じような取り組みを行い、子どもたちの学力の向上を図るとい内容なのか。

〔答弁〕今回、学力検査の内容等について、本市の学力向上を図っていく上で有効であるという考えから、埼玉県で実施して

いる本事業の採用を決めた。本市としては、そのデータ等を活用しつつ、宮城県教育委員会の指導、支援を得ながら改善に取り組んでいきたいと考えている。

〔質疑〕学力向上パワーアップ支援事業を導入することにより、新たに教職員の負担はでてくるのか。

〔答弁〕今回、予算計上している事業は、問題作成から採点、結果分析まで業者委託となっていることから、本事業を導入することにより教職員の負担が増えることはないと考えている。

〔質疑〕小中学校教室エアコン設置事業として3億1千103万9千円が計上されているが、9月議会では約2億円になるとい内容があった。

今回、見積もりが約1億円以上増えた理由を伺う。

〔答弁〕9月時点においては、国からの指定が普通教室のみと提案されていたが、10月に普通

教室を最優先するが、希望があれば特別教室まで広げても構わないという通知をいただいた。このことから、白石中学校など一部の大きな学校の特別教室に導入する計画へ変更した。

また、それに伴い高圧受電設備の改修等も一部出てくることから、金額が増額となったものである。

〔質疑〕古典芸能伝承の館修繕費として、55万円が計上されているが、その内容を伺う。

〔答弁〕施設の非常用照明設備が老朽化していることから、その修繕を行うものである。



予算審査特別委員会の現地視察(ホワイトキューブ)